

平成20年度当初予算主要事業

1 能登半島地震からの創造的復興

- (1) 震災の総括と「復興元年」を象徴する取り組み
- (2) 安全・安心な暮らしの再建
- (3) 地域の特色ある産業・経済の再建・復興
- (4) 持続可能な地域づくり
- (5) 風評被害の払拭キャンペーン

2 交流が盛んな特色ある地域づくり

- (1) 北陸新幹線の早期実現
- (2) 三大都市圏誘客1千万人構想と海外誘客3倍増構想の推進
- (3) 人・ものの広域交流のための基盤整備の推進

3 個性を活かした文化と学術の地域づくり

- (1) 伝統文化の継承・発展と新たな文化の創造
- (2) 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力発信
- (3) 世界に開かれた多文化の共生と交流

4 競争力のある元気な産業づくり

- (1) いしかわ産業化資源活用推進ファンド(仮称)による産業の活性化
- (2) 産業人材の総合的育成・確保
- (3) 基幹産業の新ビジネス展開・次世代型企業の育成
- (4) 重要港湾の国際物流拠点化と港湾活用型企業の集積促進
- (5) 地場産業の経営安定化と基盤強化

5 みんなで支える安らぎのある社会づくり

- (1) 少子化対策最先進県を目指した取り組みの拡充
- (2) 高齢者の健やかな暮らしへの支援
- (3) 障害者の自立と社会参加への支援
- (4) 県民のこころとからだの健康づくり
- (5) 男女共同参画社会の形成

6 安全でうるおい豊かな環境づくり

- (1) 官民一体となった災害に強い県土づくり
- (2) 医療人材の確保など地域医療の積極的な推進
- (3) 身近な安全・安心が確保された社会づくり
- (4) 地球温暖化防止への取り組みと環境負荷の少ない社会づくり
- (5) 自然と人が共生できる社会づくり

7 自律した持続可能な地域づくり

- (1) 地域主導の地域づくりへの支援
- (2) 中心市街地の再生・活性化
- (3) 快適な生活空間づくり
- (4) 支え合いによる活力ある地域コミュニティの再生

8 未来を拓く心豊かな人づくり

- (1) 個性を伸ばす学校づくり
- (2) 建学の精神を尊重した私学の振興
- (3) スポーツの振興

9 魅力ある産業としての農林水産業づくり

- (1) 次世代に向けた農業人材など担い手の育成・確保
- (2) 消費者ニーズに応える戦略的な生産と流通の確立
- (3) 競争力のある林業・木材産業の育成
- (4) 水産資源の回復と流通の効率化による水産業の再生
- (5) 農林水産業・農山漁村の多面的な機能の保全・発揮

10 地方分権時代における自立的かつ持続可能な行財政基盤の確立

- (1) 厳しい財政状況の下での財政健全性の維持
- (2) 時代の変化や市町・民間との役割分担を踏まえた県行政の守備範囲の見直し
- (3) 事務処理の工夫による業務の効率化

1 能登半島地震からの創造的復興

- (1) 震災の総括と「復興元年」を象徴する取り組み
- ⑧ 能登半島地震復興シンポジウム(仮称)の開催(Ｈ20年3月25日)(復興基金)
 - ⑧ ボランティア感謝の集い開催支援(Ｈ20年3月23日)(中小企業復興支援基金)
 - ⑧ 能登ふるさとモデル住宅の完成・公開(Ｈ20年3月25日)
 - ⑧ 能登半島地震災害記録誌の発行 5,500 千円
- (2) 安全・安心な暮らしの再建
- 住宅の再建支援
 - 能登半島地震被災者の生活再建支援(県制度) 210,000 千円
 - 住宅再建総合相談の実施、建築士等専門家の派遣(復興基金)
 - 住まい・まちづくり協議会の活動支援(復興基金)
 - 住宅の建設等に対する支援(復興基金)
 - 安全・安心な生活支援
 - 被災者の健康状況フォローアップ調査 3,800 千円
 - ⑧ 被災地高齢者のための健康づくり教室の開催 3,400 千円
 - 生活基盤の整備推進
 - ⑧ 能登有料道路の機能向上 185,000 千円
 - ゆずりレーン 期(穴水町越の原地内)
 - ゆずりレーン 期延伸(七尾市中島町田岸地内)
 - 別所岳SA拡張(遊歩道・広場整備)
 - 復興の核となる道路整備 1,205,000 千円
 - ⑧ 大町通り線・本町線・穴水劔地線(穴水町)、
 - ⑧ 和倉港和倉駅線、府中七尾駅線(七尾市)、河井町横地線(輪島市)、
 - 春日通り線(珠洲市)、新町通り線(能登町)
- (3) 地域の特色ある産業・経済の再建・復興(中小企業復興支援基金)
- 中小企業の復興支援
 - 重点支援業種(輪島塗、商店街、酒造業)への支援
 - ⑧ 輪島塗部門別コンテスト・商店街空き店舗入居誘致・酒蔵ツアー
 - に対する助成
 - 事業用施設設備復旧、仮設店舗設置、販売促進活動などに対する助成
 - 販路開拓への支援
 - ⑧ 特産品等の共同販売所開設に対する助成
 - 金融支援
 - 企業の設備資金の利子・保証料を全額助成(激甚災害指定地区)
- (4) 持続可能な地域づくり
- ・ 地域資源の保存・活用
 - 能登ブランドの振興・創生支援
 - ⑧ 地域資源を活用した地域づくり、まちづくりの取り組みに対する支援(復興基金)
 - 地域ブランド(地域の魅力発信・名物づくり)、コミュニティビジネス
 - 奥能登ウェルカムプロジェクトの推進 10,000 千円
 - 奥能登2市2町の連携による「能登井」夏メニューの開発、
 - 能登回廊100選による情報発信など
 - 能登らしい景観・文化の保全・活用
 - 角海家の修復と活用に対する支援

- ・ 交流とにぎわいの創出
 - ⑧ 大都市圏等との交流創出イベントに対する支援(復興基金)
 - 交流居住等の推進
 - ⑧ 全国的なイベントやポータルサイトを活用した情報発信 2,000 千円
 - ⑧ 移住・交流居住の受入を担う組織の創設・育成に対する支援(復興基金)
 - グリーン・ツーリズムの推進 3,600 千円
 - ⑧ 子ども農山漁村交流プロジェクトなど
 - 能登空港の安定需要の確保に向けた利用促進活動の展開 105,000 千円
 - ⑧ 能登ファンクラブ立ち上げ、PR強化など
 - ⑧ 全国過疎問題シンポジウムの開催 4,500 千円
H20年10月、輪島市ほか
- (5) 風評被害の払拭キャンペーン(中小企業復興支援基金)
 - ⑧ 能登ふるさと博の開催
復興記念コンサート、能登元気市(七尾市、輪島市、珠洲市)の開催など
 - 全県的な観光キャンペーン
マスメディアとのタイアップによる情報発信、⑧加賀温泉郷回廊キャンペーン
など地域の魅力を高める取り組みへの支援

2 交流が盛んな特色ある地域づくり

- (1) 北陸新幹線の早期実現
 - ・ 北陸新幹線の建設促進
 - 北陸新幹線建設費負担金 5,804,000 千円
長野～白山総合車両基地間
 - ・ 北陸新幹線開業効果の最大限の発現と並行在来線の運営に向けた調査・検討
 - ⑧ 新幹線開業に向けたアクションプラン(STEP21)の策定 5,200 千円
 - ⑧ 首都圏及び沿線地域からの誘客拡大に向けた施策の策定 2,500 千円
 - ⑧ 並行在来線の経営計画検討のための需要予測・鉄道施設調査 15,500 千円
- (2) 三大都市圏誘客1千万人構想と海外誘客3倍増構想の推進
 - 三大都市圏誘客1千万人構想の推進
 - 三大都市圏等における観光石川の発信 81,780 千円
首都圏いしかわ交流会等の開催、
⑧首都圏コンビニエンスストアと連携した情報の発信、
⑧東海北陸自動車道開通記念キャンペーンの実施、
加賀百万石ウォークの実施、旅行会社の企画担当者招へいなど
 - ターゲットを絞った効果的な情報発信による誘客促進 6,000 千円
退職者会、老人クラブなどを対象としたシルバーウェルカムキャンペーン、
「アニバーサリー だから いしかわ」キャンペーンの実施など
 - スペシャルガイドが案内する石川ならではの旅の提案 4,500 千円
能登のキリコ祭りなど「本物を巡る旅」の充実、
いしかわの魅力を語るガイドツアーの実施
 - 石川県観光物産PRセンターに対する支援 15,700 千円
アンテナショップの運営及び観光情報の発信
 - ⑧ 名古屋観光物産案内所の設置(観光連盟) 15,500 千円
愛知、三重、岐阜、静岡の退職者会への観光宣伝など

-	海外誘客3倍増構想の推進	
	台湾、中国、香港、韓国等からの誘客促進	34,000 千円
	⑧台湾観光ミッションの派遣、⑧台湾地下鉄車内広告の掲載、 中国進出企業のインセンティブツアーの誘致、⑧香港観光ミッションの派遣、 韓国マスコミ・教育旅行関係者の招へいなど	
-	新たな旅行ニーズへの対応と観光地の魅力アップ	
	⑧ニューツーリズムの推進	9,000 千円
	産業観光の誘客モデル構築、地域密着型旅行商品の開発への支援など	
	グリーン・ツーリズムの推進(再掲)	3,600 千円
	⑧県民総ぐるみでの観光イメージアップ運動の推進	3,000 千円
	「お国自慢」の掘り起こし・発信、おもてなしの心の醸成など	
	観光地の活性化への支援	28,800 千円
	温泉等観光地のブランド化等に対する助成	
	のとしま水族館の魅力アップ(県民ふれあい公社)	
	⑧「海の自然生態館」のリニューアルオープン(H20年4月)	
	⑧パノラマ大水槽の基本構想策定	3,000 千円
	いしかわ動物園の魅力アップ	97,900 千円
	⑧「ネコたちの谷」の改修	
-	美しい石川の景観づくりの推進	12,700 千円
	⑧景観総合条例(仮称)の提案(6月議会)、	
	⑧公共事業景観形成・エコサインのガイドライン検討	
(3)	人・ものの広域交流のための基盤整備の推進	
・	航空ネットワークを活用した交流の促進	
-	小松空港	
	国際旅客便の利用促進	53,810 千円
	⑧台北便就航記念事業の実施、 定期便の広告宣伝(⑧台北便、上海便、ソウル便)、 タイ双方向チャーター便の運航支援など	
	国際貨物便の利用促進	13,220 千円
	荷主企業に対するPR活動、⑧物流動向調査、通関量増加対策助成など	
	国内旅客便の利用促進(福岡、仙台など)	17,000 千円
-	能登空港	
	安定需要の確保に向けた利用促進活動の展開(再掲)	105,000 千円
	国際インパウンドチャーター便の運航支援	12,000 千円
	二次交通(ふるさとタクシー)の運行支援	2,531 千円
・	多重な道路網の整備 - 「ダブルラダー結いの道」整備構想の推進	
-	地域高規格道路の整備	
	金沢外環状道路 海側幹線	
	南部延伸(白山市乾町～金沢市福増町間) 債務を含め	7,320,000 千円
	北部延伸(金沢市鞍月～大河端町間、⑧大友地区)	1,415,000 千円
	金沢能登連絡道路(直線化区間)	500,000 千円
-	広域交流幹線軸道路の整備	
	珠洲道路	170,000 千円
	輪島道路	13,000 千円
	能登有料道路(⑧ゆずりレーン・⑧別所岳SA)(一部再掲)	432,000 千円
	七尾道路	100,000 千円
	河北縦断道路	260,000 千円

	金沢井波線	債務を含め	2,750,000 千円
	南加賀道路	債務を含め	1,301,000 千円
-	地域振興道路の整備		
	広域営農団地農道		1,029,000 千円
	ふるさと農道・林道(一部再掲)		547,000 千円
-	交流・物流拠点連結道路の整備		
	城山線		190,000 千円
	高松インター通り線		50,000 千円
	白山IC(仮称)		800,000 千円
	倉部金沢線		65,000 千円
	小松加賀線		30,000 千円
	安宅PAスマートIC社会実験		24,700 千円

3 個性を活かした文化と学術の地域づくり

(1) 伝統文化の継承・発展と新たな文化の創造

-	金沢城の魅力の発信		
	金沢城公園の整備		628,889 千円
	⑧いもり堀の水堀化工事、河北門の復元工事など		
	金沢城石川門の保存修理(附属右方太鼓塀など)		124,000 千円
	金沢城の調査研究		31,795 千円
	石垣構築技術など		
	城と庭との連携による新たな魅力の発信		6,976 千円
	城と庭の四季に親しむガイドツアーの実施など		
	「金沢城・兼六園四季物語」の展開		12,800 千円
	金沢城や兼六園を活用した多彩なイベントを開催		
-	兼六園周辺文化の森の魅力アップ		
	兼六園周辺文化の森の活性化		9,300 千円
	ミュージアムウィーク開催、「金沢芸妓の舞」等伝統芸能鑑賞機会の提供など		
	美術館のリニューアル整備(H20年9月20日オープン)		1,775,000 千円
	⑧美術館リニューアル記念企画展の開催		68,867 千円
	法隆寺の名宝と聖徳太子の文化財展		
	⑧前田育徳会尊経閣文庫分館の設置(美術館)		
	⑧前田育徳会所蔵文化財の保存・研究等に対する支援		10,000 千円
	歴史博物館の企画展の開催		11,383 千円
	「世界大風呂敷展」など		
	本多の森公園の整備		47,000 千円
	⑧美術館周辺園地、⑧屋外昇降施設(基本設計)		
	⑧石川四高記念文化交流館オープン記念企画展の開催		6,000 千円
	H20年4月26日オープン、「愛の手紙展」など		
-	県庁跡地等の再整備		
	⑧旧県庁舎本館南ブロックの改修等整備	債務を含め	2,087,000 千円
	H22年完成予定		
	⑧旧県庁舎周辺敷地等の整備	債務を含め	292,000 千円
	広坂庁舎2号館解体撤去など		
-	⑧広坂周辺の将来構想の検討		1,000 千円
-	世界遺産登録に向けた取り組み		23,925 千円
	文化遺産学術調査委員会の開催、⑧学術的考察を深めるテーマ別研究、		
	⑧戸室石切丁場の総合調査、キャンペーン事業への支援など		

- ㊦ 無形文化遺産登録に向けた取り組み 1,500 千円
輪島塗フォーラム、作品展の開催など
 - 豊かな文化の創造と発信
音楽堂自主事業の展開 37,300 千円
 - ㊦ ラ・フォル・ジュルネ金沢～「熱狂の日」音楽祭2008の開催 5,000 千円
H20年4月29日～5月5日
 - ㊦ オーケストラ・アンサンブル金沢ドイツ・フランス公演の実施 5,000 千円
- (2) 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力発信
- 高等教育機関の「学び」の環境の充実
大学コンソーシアム石川に対する支援 20,057 千円
いしかわシティカレッジ事業、㊦学生・企業まちなかサロンの開催、
㊦食に関する教育プログラムの開設に向けた研究など
 - 高等教育機関との連携による学術交流の推進
㊦ 国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング 25,600 千円
・ユニットとの連携(H20年4月オープン)
開所記念講演会の開催、国際シンポジウムの開催、
共同研究プロジェクト(里山、森林、文化遺産等)の実施など
 - ㊦ COP9(第9回生物多様性条約締約国会議)関連会議への 4,618 千円
国連大学高等研究所の要請に基づく参加
石川の里山の世界への発信(H20年5月、ドイツ)
 - ㊦ 里山交流国際フォーラムの開催 2,000 千円
COP10(第10回生物多様性条約締約国会議 H22年開催)
に向けた石川の里山の魅力発信
 - 高等教育機関の地域貢献による地域活性化の推進
㊦ 県内高等教育機関と地域の連携による研究プロジェクトへの支援 10,000 千円
自然との共生による地域づくりプロジェクト(金沢大学)など
 - 地域貢献型学生プロジェクトの推進 1,900 千円
 - 地域課題研究ゼミナールの支援 5,000 千円
 - 県立大学大学院の整備(H21年4月開設) 962,286 千円
- (3) 世界に開かれた多文化の共生と交流
- ㊦ ブラジル移民100周年記念事業の実施 4,500 千円
フェスティバル・ド・ジャポン(ブラジル)への観光物産コーナー出展など
 - 外国人との共生・交流社会づくりの推進 1,100 千円
㊦医療・観光通訳ボランティアの育成など
 - 日本語・日本文化研修センターの運営 28,027 千円
本県独自の日本語・日本文化研修プログラムの実施
 - 中国江蘇省との地域活性化交流の推進 20,310 千円
経済・観光・人材・環境分野での交流、㊦若手日本語教師の研修受入

4 競争力のある元気な産業づくり

- (1) いしかわ産業化資源活用推進ファンド(仮称)による産業の活性化
- ㊦ 推進体制の整備
「活力ある地域産業創出推進会議(仮称)」の設置
産業創出支援機構に地域振興部、能登サテライト(奥能登行政センター内)を設置

- ⑧ 官民連携による基金(200億円)の設置(産業創出支援機構) 12,000,000 千円
 地域の産業化資源を活用した新たなビジネス創出への支援
 環境にやさしい素材を使った漆器の開発、特産品のブランド化に向けた
 販路開拓など
 農商工連携による新産業の創出への支援
 地元農産物の特徴を活かした菓子等の開発など
 医商工連携による新産業の創出への支援
 医療と観光を組み合わせたヘルスツーリズム、高齢者を対象とした脳健診
 サービスの事業化など

(2) 産業人材の総合的育成・確保

- ⑧ 県央地区モノづくり人材育成構想の策定 4,000 千円
 人材育成拠点としての金沢産業技術専門校の活用
- ⑧ モノづくり基礎力向上セミナーの開催 3,200 千円
 新入社員向け基礎訓練など(金沢産業技術専門校)
- ⑧ モノづくりチャレンジセミナーの開催 4,600 千円
 文系大学生等を対象とするモノづくり体験(金沢産業技術専門校)
- モノづくり技能継承塾の開催 7,496 千円
 機械加工・溶接技能訓練(小松産業技術専門校)
- 産業界のニーズに対応したモノづくり人材の育成 19,000 千円
 高等学校(工業科)における生徒・教員の企業実習・研修など
- モノづくり企業の新卒学生等の確保 2,100 千円
 ⑧理工系大学等のキャンパス内における合同企業説明会の開催など
- ⑧ 中学生等を対象としたモノづくり企業見学会の開催 1,000 千円
- 高度専門技術人材の確保等Uターン促進 10,585 千円
 首都圏等における相談窓口の設置、求人・求職情報の提供、
 首都圏の人材紹介会社とのネットワークを活用したUターン支援
- ふるさと就職の促進 7,000 千円
 合同企業説明会の開催、企業情報誌の提供
- 若者女性しごと情報館の運営 83,300 千円
 若者の職業選択への支援、女性の再就職への支援など

(3) 基幹産業の新ビジネス展開・次世代型企業の育成

・ 基幹産業の新ビジネス展開への支援

- ⑧ 基幹産業の競争力強化に向けた支援 10,000 千円
 機械、繊維、食品、IT産業の競争力強化に向けた技術開発への助成
- ⑧ 機械産業の新分野への参入・展開の支援 3,000 千円
 自動車・航空機・医療機器・農業機械分野
- モノづくり産業の新たなビジネス展開への支援 3,000 千円
 ⑧自動車メーカー・関連企業と県内企業との展示・商談会の開催
- ⑧ 繊維ルネッサンスの展開 19,500 千円
 首都圏アパレル企業との共同商品開発・懇談会の開催、ジャパン・クリエー
 ション等への出展、産業資材等非衣料分野の商品開発への助成
- ⑧ 食品産業の新たな市場開拓への支援 2,400 千円
 FOOD EX JAPAN(食品国際見本市)への出展助成
- ⑧ IT産業の新たな市場開拓への支援 4,200 千円
 大手IT企業と県内IT企業との共同商品開発、
 県内基幹産業からの受注開拓への助成

-	県内企業の海外戦略の強化	
	国際ビジネスサポートデスクの運営	2,200 千円
	中国・韓国における販路開拓支援	13,200 千円
	ビジネス研究会、商談会の開催(江蘇省、上海、大邱)など	
・	産学・産業間連携による新産業の創出	
-	脳機能計測診断支援システムの開発研究	5,000 千円
	知的クラスター創成事業(5億円×5年間(H16~20))に対する支援	
-	大学の研究シーズを活用した新事業の創出支援	17,457 千円
	いしかわ大学連携インキュベータ(i-BIRD)の入居企業に対する賃借料助成、 大学と連携したインキュベータ入居企業への研究助成	
-	「石川新情報書府」第3期構想の推進	20,400 千円
	地場産業と連携したコンテンツ産業の新たなビジネス展開への支援など	
-	◎ 大手小売企業と県内中小企業との生活用品の共同開発促進	4,400 千円
-	モノづくり支援機能の強化(工業試験場)	111,000 千円
	新製品開発支援のための機器整備	
・	次世代型企業の育成・支援	
-	革新的ベンチャー企業など次世代型企业群の創成支援	26,388 千円
	ニッチトップ認定企業への専門家派遣等による集中支援 支援機関等とのマッチング、起業後初期の資金的支援	
-	いしかわサイエンスパークの新産業創造拠点化	54,241 千円
	いしかわフロンティアラボ、クリエイトラボ入居企業に対する支援	
・	戦略的な企業誘致の推進	
-	創造的産業等立地促進条例による企業誘致の推進	583,000 千円
-	雇用拡大関連企業立地促進補助金による企業誘致の推進	517,000 千円
(4)	重要港湾の国際物流拠点化と港湾活用型企業の集積促進	
-	金沢港の建設促進	
	大水深岸壁の整備	2,578,500 千円
	H20年秋 - 12m供用	
	大浜ふ頭の整備	939,000 千円
	◎ 引船の追加配備	46,452 千円
	タイヤマウント式クレーンの移設	72,000 千円
	金石・大野埋立用地の整備	2,800,000 千円
	御供田ふ頭コンテナターミナルの拡張整備	35,000 千円
-	七尾港の建設促進	
	大水深岸壁の整備	120,791 千円
-	金沢港・七尾港の活用促進	
	金沢港への新規航路等の誘致促進	1,000 千円
	国内外でのポートセールス等の実施	8,153 千円
(5)	地場産業の経営安定化と基盤強化	
・	企業の状況に応じたきめ細かな支援	
-	地場産業の経営安定・基盤強化に向けた総合支援	22,344 千円
	再生・事業転換・創業・経営革新・連携支援プログラムの推進 計画策定支援、専門家派遣による指導など企業の取り組み支援	

- 地域・業種・企業規模を踏まえた地場産業の支援
設備貸与制度等の利率低減(各 0.25%)
⑧ 過疎・準過疎地域、不況業種、経営革新等
経営革新等支援融資利率低減(各 0.1%(全てを満たせば 0.5%))
⑧ 過疎・準過疎地域、不況業種、小規模企業
- 中小企業の事業承継に対する支援 2,000 千円
意識啓発セミナーの実施、相談体制の拡充強化
- ・ 伝統産業の振興
 - ⑧ 小規模事業者の商品提案力育成 5,000 千円
商品開発から見本市出展までの一貫した助成
 - 市場需要を踏まえた新商品研究開発への支援 9,300 千円
 - 国内・海外の販路開拓支援 8,983 千円
国内外の見本市出展への助成
 - 伝統的工芸品見本市などの開催に対する支援 18,000 千円
いしかわ伝統工芸フェア(H21年2月、東京)
 - ⑧ 国際漆展・石川2009の開催支援(H21年1月21日～26日) 9,000 千円

5 みんなで支える安らぎのある社会づくり

(1) 少子化対策最先進県を目指した取り組みの拡充

- ・ 社会全体による子育て支援の推進
 - 子育てに対する社会的理解の促進
プレミアム・パスポート事業の推進 2,300 千円
優良協賛企業の表彰など
 - ⑧ いしかわ子育て応援リレーシンポジウムの開催 1,000 千円
ふるさといしかわ子育て応援ファンドの寄附金による事業展開
⑧ インターネット上での「いしかわプレパス商店街」の開設など
 - ⑧ 企業と連携した県民参加型の子育て応援制度の創設 1,000 千円
企業のポイントサービス等を活用した寄附制度
 - ⑧ ワークライフバランス実現のための企業の取り組みの促進 4,800 千円
モデル企業に対するコンサルティングの実施と成功事例の普及、
一般事業主行動計画レベルアップ研修会の開催、
ワークライフバランスコンサルタントの養成・派遣、
学生向けワークライフバランス企業紹介誌の作成・配付など
- ・ 子どもの誕生と健やかな育ちへの支援
 - 不妊に関する相談から治療までの切れ目のない支援
⑧ 不妊や妊娠の悩みに関する専門相談の充実 4,148 千円
平日のほか、隔週土曜日を毎週土曜日に拡大
体外受精や薬物治療、人工授精等不妊治療費に対する助成 63,429 千円
 - マイ保育園制度による育児支援 2,320 千円
妊娠時から3才未満児の育児期間中、登録保育所等で
育児相談・育児体験等を実施
 - マイ保育園を活用した新たな子育て支援の実施 20,230 千円
⑧ 子育て支援プランの作成・地域と連携した取り組みに対する助成、
子育て支援コーディネーターの全県配置に向けた養成研修など
 - ⑧ マイ保育園と母子保健サービスの連携促進 2,800 千円
マイ保育園での母子健康相談、乳児健診での子育て支援
コーディネーターによる育児相談など

-	㊦ いしかわ子ども交流センターのオープン(Ｈ20年4月) 記念事業の実施、子どものまち「ミニいしかわ」の開催など	3,776 千円
-	児童福祉施設の整備	152,742 千円
	保育所	11カ所
	児童養護施設	1カ所
	児童館	2カ所
	放課後児童クラブ	11カ所
-	放課後児童クラブ指導員の複数配置支援	19,981 千円
-	子どもを取り巻く医療環境の整備	
	小児救急電話相談の実施(毎日夜間)	11,972 千円
	㊦ 薬局を活用した子どもの健康相談	1,000 千円
	子どもの健康サポート薬剤師の養成など	
	乳幼児医療費助成制度	414,353 千円
	入院:就学前児童まで、通院:3歳児まで	
	ひとり親家庭等医療費助成制度	126,914 千円
	18歳までの児童を持つ母子・父子家庭等に対する医療費助成	
・	食育の推進による健全な心身と豊かな人間性の育成	
-	県民を挙げた食育推進運動の展開	
	㊦ いしかわ食育推進大会の開催	1,357 千円
-	家庭、保育所、学校、地域等における食育の推進	
	地域版・家庭版食育推進計画の策定支援	1,245 千円
	計画の募集・認定、㊦優良計画の表彰など	
	㊦食育コーディネーターの養成・派遣	1,000 千円
	地域における食育推進計画の策定や活動を支援	
	㊦栄養教諭の計画的配置	
	全市町への配置	
・	子どもの権利擁護と自立支援	
-	㊦ 子ども虐待防止総合対策の強化	48,559 千円
	虐待・いじめ・子育てを考えるセミナーの開催、	
	市町職員を対象とした児童福祉司養成講習会の実施など	
-	児童養護施設入所児童等の自立支援	3,960 千円
	自立支援アドバイザーの派遣など	
-	母子家庭等の自立支援	33,704 千円
	ブレ訓練付き職業訓練、自立支援給付金の支給など	
(2)	高齢者の健やかな暮らしへの支援	
-	介護保険制度の円滑な実施	
	地域支援事業の推進	325,730 千円
	介護予防事業(特定高齢者の選定、筋力トレーニング、栄養改善指導など)、	
	地域包括支援センターによる総合相談等の実施	
	ケアマネジメントの質の向上	18,073 千円
	介護支援専門員更新研修、主任介護支援専門員養成研修、	
	㊦介護支援専門員非現任者再研修等の実施	
	介護サービスの適正な実施	12,353 千円
	介護保険制度利用者の利用料軽減、	
	地域包括支援センター・認知症高齢者グループホーム等職員の研修の実施	

- 在宅の認知症高齢者に対する地域支援体制の整備推進 12,000 千円
早期診断チェックリストの普及、商店・銀行等地域における認知症への理解の促進、徘徊高齢者の発見のための連絡体制整備など
 - 生きがいと社会参加の促進
 - ⑧ ねんりんピック推進室の設置
第23回全国健康福祉祭(ねんりんピック)の開催準備(H22開催) 13,800 千円
- (3) 障害者の自立と社会参加への支援
- 障害者自立支援法の円滑な施行 768,775 千円
障害者自立支援対策臨時特例基金を活用した事業者に対するサービス報酬の激変緩和措置、施設整備に対する助成など
 - 授産施設等で働く障害者の安定的な収入の確保 7,500 千円
経営アドバイザーの派遣による製品開発支援・経営改善指導など
 - 障害者就労訓練施設の整備 4カ所 14,873 千円
 - 錦城学園の改築 債務を含め 304,164 千円
 - 総合養護学校の全面開校(H20年4月)⑧知的障害部門)
 - ⑧ 七尾養護学校輪島分校の開校(H20年4月)
 - 県央南部総合養護学校(仮称)の校舎等整備 債務を含め 1,370,620 千円
 - 発達障害支援センターの運営 7,351 千円
 - 高等学校における発達障害のある生徒への支援 1,200 千円
支援コーディネーターの養成、サポートチームの派遣
 - 障害のある生徒のインターンシップの促進 3,405 千円
職場実習の実施、就労サポーターの派遣など
 - 自閉症支援センターの運営 24,576 千円
 - 精神科救急医療システムの充実 21,133 千円
⑧ 24時間電話相談窓口の設置、
⑧ 夜間の受入医療機関の拡充(1施設 2施設)
- (4) 県民のこころとからだの健康づくり
- ・ いしかわ健康フロンティア戦略の推進
 - 本県独自の課題・特色を踏まえた健康の「増進」、「回復」、「維持」 5,750 千円
e-ラーニングによる健康づくりに関する知識習得講座、健康サポーター・健康づくりプログラム認定による健康増進
 - ⑧ 後期高齢者医療広域連合が実施する健診事業への支援 64,743 千円
 - ・ 自殺対策の推進
 - ⑧ 自殺対策行動計画に基づく総合的な対策の展開 3,300 千円
救急医療と精神科医療の連携強化、自殺が発生した学校・職場への緊急支援チームの派遣など
- (5) 男女共同参画社会の形成
- 企業における女性のチャレンジの支援 1,698 千円
ワークライフバランスに取り組む企業を対象とした男女共同参画の実践など
 - 男女共同参画推進員のネットワーク強化 2,040 千円

6 安全でうるおい豊かな環境づくり

(1) 官民一体となった災害に強い県土づくり

- ・ 災害等に備えた体制の強化
 - 防災総合訓練の実施(羽咋市、H20年9月) 1,700 千円
 - ㊦ 自主防災組織の住民による救助訓練など
 - ㊦ 自主防災の取り組み支援 9,258 千円
 - 自主防災組織の拡充、地域防災リーダーとなる防災士の育成など
 - ボランティアによる被災者救援活動の円滑化 1,584 千円
 - 災害ボランティアコーディネーターの養成、㊦スキルアップ研修の実施、市町災害ボランティア担当者等研修の実施
 - ㊦ 被災建物認定調査などの円滑化に向けた研修会の開催 500 千円
 - 防災情報収集・伝達体制の整備・運営
 - 総合防災情報システムなどの運営 193,803 千円
 - 地震震度情報ネットワークシステムの整備 21,876 千円
 - 市町の洪水ハザードマップの作成支援(H20完了) 15,000 千円
 - 国民保護計画の推進 4,352 千円
 - 国民保護図上訓練の実施など
- ・ 災害に強い県土の基盤づくり
 - 民間住宅・建築物の耐震化の促進 5,470 千円
 - 耐震改修への支援、普及啓発など
 - 公共施設等の耐震化
 - ㊦ 県立学校体育館等の耐震診断・補強計画 28,155 千円
 - 新たに市町の避難施設に指定された体育館7施設10棟など
 - 県立学校の耐震補強・大規模改造 233,185 千円
 - 橋りょうの補修 843,840 千円
 - 河川改良 3,234,089 千円
 - 辰巳ダム建設 債務を含め 2,680,000 千円
 - 北河内ダム建設 債務を含め 3,195,000 千円
 - 治山対策 1,411,699 千円
 - 砂防地すべり対策 債務を含め 3,174,280 千円

(2) 医療人材の確保など地域医療の積極的な推進

- ・ 医師不足の解消に向けた医師確保対策の推進
 - ㊦ 地域医療推進室の設置
 - 医師の養成や研修医の確保に対する支援
 - ㊦ 医学部進学者の増加を図る高校生対象セミナーの開催 1,100 千円
 - ㊦ 医学部入学定員5名増に向けた大学との協議
 - ㊦ 自治医科大学医学部入学枠の確保
 - 2名 3名
 - ㊦ 臨床研修医等の確保に向けたシンポジウムの開催 1,500 千円
 - 地元出身医学生等への働きかけ
 - ㊦ 地域医療人材バンクの充実 1,000 千円
 - 地元出身の県外医師や医学生の人材情報収集、退職医師や働く意欲のある子育て中の女性医師と病院のマッチングなど
 - 医師不足地域における医療の確保
 - ㊦ 能登北部地域医療協議会(仮称)への支援 1,000 千円
 - 能登北部公立4病院の連携強化方策の検討

- ・ 安全・安心な消費生活社会づくりの推進
 - 被害の未然防止のための消費者教育の充実 12,063 千円
草の根消費者教室の開催、電子メールによる消費生活情報の提供、
⑨ストップ多重債務キャンペーンの実施など
 - 不適正な取引の監視 7,236 千円
専任調査員の配置、立入調査の実施
 - 市町の消費者苦情処理体制の充実に向けた支援 2,069 千円
消費生活相談員養成研修への派遣、市町への相談業務支援員の派遣など
- ・ 身近な治安対策の充実
 - 警察施設の整備
 - 交通機動隊庁舎の移転整備(H20年8月完成) 155,662 千円
 - 駐在所の整備(1カ所) 35,349 千円
 - 安全で安心な地域社会づくりの推進
 - ⑨ 地域の実情に応じた各警察署独自の治安対策の実施 4,785 千円
キャンペーンの実施などによる防犯まちづくり意識の向上 3,249 千円
 - 小学校通学路の安全確保の推進(全小学校で実施) 22,425 千円
保護者や地域住民のボランティア活動に対する支援
- ・ 交通安全対策の充実
 - 交通安全施設の整備 1,103,612 千円
 - 交通安全対策の充実 12,246 千円
官民挙げた飲酒運転根絶運動(石川版ハンドルキーパー運動)の展開、
高齢者に対する安全指導・反射材の配付
- ・ 配偶者等からの暴力対策の推進
 - 相談体制の充実・被害者の自立支援 6,625 千円
DVホットライン・弁護士の設置、就職支援、語り合う場の提供など
 - ⑨ デートDV(交際相手からの暴力)の防止 800 千円
教員・高校生向け意識啓発セミナーの開催
- (4) 地球温暖化防止の取り組みと環境負荷の少ない社会づくり
 - ・ 地球温暖化防止の取り組み
 - ⑨ 地球温暖化対策室の設置
 - 県民生活のあらゆる場面における省エネ活動の推進
 - 「県民エコライフ大作戦」の深化 8,000 千円
ステップアップにつながる長期コースの設定(1週間、⑨2週間・1ヶ月)、
⑨県民・企業・団体・学校等における先駆的な取り組みの表彰、
⑨推進協議会設立によるエコドライブの取り組み拡大など
 - ⑨ エコマイスター・アドバイザーによる取り組み支援 2,500 千円
エコドライブマイスターなどによる県民エコライフ活動の普及・指導
 - いしかわ版環境ISO(地域・家庭・学校・事業者版)の普及 11,394 千円
⑨地球温暖化防止活動推進員による県民の参加促進、
⑨エコ保育所・幼稚園のモデル実施
 - ⑨ 市町の地球温暖化対策の取り組み支援 1,000 千円
実行計画等の策定・地域協議会の設立促進
 - いしかわ森林環境税による森づくりの推進
 - 水源地域等の手入れ不足林に対する強度間伐の実施 611,420 千円
 - 森づくりに対する理解の増進 16,700 千円
森林環境実感ツアー、小中高校生の森林体験活動など

	県民参加の森づくりの推進	18,300 千円
	⑧企業の森二酸化炭素吸収証書の発行、 ⑧「もりの保育園・小学校」の開設(夕日寺健民自然園)など	
	- 県民エコステーションの充実	33,617 千円
	いしかわ環境フェア、県民環境講座の開催など	
	・ 循環型社会の形成	
	- ゼロエミッションに向けた産業廃棄物排出量実態調査の実施	2,000 千円
	- 企業の廃棄物減量化の推進	1,200 千円
	⑧アドバイザー派遣による産業廃棄物の排出抑制支援など	
	- 廃棄物適正処理対策の推進	18,493 千円
	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の電子化の推進、 産業廃棄物監視機動班による立入調査など	
	・ 生活環境の保全	
	- 閉鎖性水域の水質浄化技術の確立に向けたモデル事業の実施	4,810 千円
	河北潟における民間技術(公募)を活用した実証試験	
	- ⑧湖沼における水辺環境モデル事業の実施	1,700 千円
	浮葉植物の植生による水質浄化の検証と原風景の復元	
	- 生活排水処理施設整備総合補助制度による支援	272,669 千円
(5)	自然と人が共生できる社会づくり	
	・ 自然環境の保全	
	- トキ分散飼育の受入のための体制整備	5,000 千円
	⑧飼育繁殖施設の基本構想策定など	
	- 生きものキッズ・レンジャー隊による環境保全	1,416 千円
	子どもを中心とした地域の取り組みによる希少野生動植物の保護活動など	
	- いしかわレッドデータブック(動物編)の改訂	1,602 千円
	- 人と野生鳥獣との共生推進	7,798 千円
	有害鳥獣捕獲者の育成、イノシシの保護管理計画の策定、 和牛放牧等によるクマ・イノシシ出没対策のモデル実施など	
	- 高等教育機関との連携による学术交流の推進	
	⑧国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング ・ユニットとの連携(H20年4月オープン)(再掲)	25,600 千円
	⑧COP9(第9回生物多様性条約締約国会議)関連会議への 国連大学高等研究所の要請に基づく参加(再掲)	4,618 千円
	⑧里山交流国際フォーラムの開催(再掲)	2,000 千円
	- 里山保全再生協定による保全活動の推進	1,100 千円
	地権者と保全活動グループ等との協定締結の支援	
	・ 自然とのふれあいの推進	
	- ⑧「もりの保育園・小学校」の開設(夕日寺健民自然園)(再掲)	1,200 千円
	- いしかわ自然学校の実施	12,780 千円
	インストラクタースクールの運営、指導者派遣、 白山まるごと体験教室等の開催など	
	- いしかわ子ども自然学校の実施	10,500 千円
	個人参加型自然体験プログラムの実施	
7	自律した持続可能な地域づくり	
(1)	地域主導の地域づくりへの支援	
	- 奥能登ウェルカムプロジェクトの推進(再掲)	10,000 千円

-	交流居住等の推進	
	㊦ 全国的なイベントやポータルサイトを活用した情報発信(再掲)	2,000 千円
	㊦ 移住・交流居住の受入を担う組織の創設・育成に対する支援(復興基金)(再掲)	
-	のと鉄道能登線跡地利活用に対する支援	
	㊦ 旧宇出津駅の利活用基本計画策定	1,000 千円
	㊦ 旧珠洲駅の利活用施設整備(物産販売・観光情報提供施設など)	
	整備費借入金の償還助成	
-	能登有料道路料金軽減対策	133,000 千円
-	地域づくりの担い手の育成、支援	7,970 千円
	地域づくりリーダーの育成など	
-	㊦ 全国過疎問題シンポジウムの開催(再掲)	4,500 千円
(2)	中心市街地の再生・活性化	
-	市街地再開発事業への支援	278,700 千円
	武蔵ヶ辻第四地区、金沢駅武蔵地区	
-	街づくりと一体となった街路整備(一部再掲)	1,174,000 千円
	都市ルネッサンス石川・都心軸、街なか再生・目抜き通りの整備	
	七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、かほく市、能登町	
-	電線類地中化の促進(一部再掲)	537,000 千円
-	都市部における公共交通機関の利用促進	
	都心軸の交通円滑化と賑わいの創出に向けた交通実験の実施	6,100 千円
	㊦ JR・バスを活用したパーク・アンド・レール・バスライド実験、	
	兼六園周辺歩行回遊性の向上実験	
-	㊦ 商店街のイベント助成の拡充、魅力を高める店舗誘致助成など	
(3)	快適な生活空間づくり	
-	地域公共交通の維持確保	
	生活路線バスの運行支援	230,200 千円
	バス事業者等が取り組む利用促進策の支援	13,000 千円
	人口減少地域の公共交通のあり方検討	1,721 千円
-	公共交通機関の充実	47,309 千円
	路線バス・鉄道車両の安全対策、バリアフリー化支援	
-	のと鉄道転換バス利用者負担の軽減	56,715 千円
-	のと鉄道運行維持への支援	72,850 千円
-	地域情報基盤の整備	
	ケーブルテレビ施設の整備支援(6地区)	238,581 千円
	携帯電話不感地帯の解消(2地区)	195,069 千円
	地上デジタル放送施設の整備支援	40,000 千円
-	良好な分譲宅地の供給促進(住宅供給公社)	
	㊦ モデル住宅建設に対する助成制度の創設など	
-	エネルギー対策の推進	1,038,540 千円
	電源立地地域対策	
(4)	支え合いによる活力ある地域コミュニティの再生	
-	県民の自主的な活動の促進	
	NPO活動支援センターの運営	11,535 千円
	社会貢献活動への参加促進	3,100 千円
	㊦ NPO起業実践講座の開催、NPO活動交流サロンの開催など	

8 未来を拓く心豊かな人づくり

(1) 個性を伸ばす学校づくり

・ 活力にあふれた魅力ある学校づくり

- 小・中学校における学力向上対策の推進
 - ⑧ 活用力向上モデル校の取り組みに対する支援 4,460 千円
 - ⑧ 活用力向上支援アドバイザーの派遣 2,000 千円
 - ⑧ 基礎的・基本的な知識・技能定着のための補充学習の実施 1,600 千円
- ⑧ 退職教員等外部人材を活用した指導の充実 87,000 千円
 - 小学校の専科教育、中学校の習熟度別指導
- 小・中学生の基礎学力調査の実施 11,804 千円
 - 小学校4年生、6年生、中学校3年生
- 石川の学校教育振興ビジョンの推進 35,000 千円
 - 達成目標を掲げた学校ごとの主体的な取り組み支援
- いしかわスーパーハイスクールの推進(5校) 4,000 千円
 - 先端科学教育、高度な語学教育の実践など
(金沢泉丘、小松、七尾、金沢二水、金沢桜丘)
- 大学連携による教員の養成・資質向上 2,000 千円
 - 大学教授による実践的ゼミナールの開催など
- ⑧ 学校における組織運営・指導体制の充実に向けた新たな職の設置
 - 副校長、主幹教諭、指導教諭を大規模校に配置(小・中・高等学校)
- 県立高等学校の再編
 - 再編校の施設・設備整備 55,769 千円
 - ⑧七尾東雲高等学校の演劇実習施設整備(実施設計)、
 - ⑧輪島高等学校の校舎等整備調査、
 - ⑧小松北高等学校の改修(実施設計)、
 - シャトルバスの整備など
 - ⑧ 七尾東雲高等学校演劇科における特別授業の実施 2,000 千円
 - 無名塾の俳優などによる講義や実技指導など
 - 石川県育英資金の貸与
 - ⑧再編整備枠(60人)設定による遠距離通学者等に対する支援
 - ⑧ 志賀高等学校・能登高等学校の校歌等の制作 3,600 千円
- ・ いじめ・不登校対策・非行防止の推進
 - 24時間対応いじめ相談テレホンの設置 7,000 千円
 - ⑧ 中学校1年生の不登校問題への対応に向けた35人学級選択制の実施
 - いじめ・不登校に対する教員の対応力の向上 1,500 千円
 - ⑧人間関係づくり実践講座の開催
 - ⑧ 不登校対応支援チームの高等学校への派遣 1,000 千円
 - 臨床心理士、精神科医等の専門家チーム
 - 学校におけるカウンセリングの強化
 - スクールカウンセラー・教育相談員の配置 69,896 千円
 - 子どもと親の相談員の配置 3,000 千円
 - 生徒指導サポーターの配置 10,997 千円
 - やすらぎ教室の運営 15,343 千円
 - スーパーバイザー(精神科医等)の配置など
 - ⑧ 携帯電話の有害情報対策の推進 2,300 千円
 - 保護者向け啓発リーフレットの作成・配付など

- ・ 県立学校の整備
 - 併設型中高一貫教育校の整備 債務を含め 684,991 千円
金沢錦丘中学校・高等学校
 - 七尾高等学校の改築 88,038 千円
 - ⑧ 金沢商業高等学校の改築(基本設計) 20,000 千円
 - 県央南部総合養護学校(仮称)の校舎等整備(再掲) 債務を含め 1,370,620 千円

- (2) 建学の精神を尊重した私学の振興
 - 私立学校の教育施設・設備整備に対する支援 116,381 千円
 - 私立幼稚園の預かり保育の実施に対する支援 23,705 千円
 - 私立幼稚園の子育て支援施設整備に対する支援 12,080 千円
 - 経常費助成 4,189,130 千円
(補助単価)
 - 高等学校 334,098円 / 人
 - 中学校 277,128円 / 人
 - 小学校 276,030円 / 人
 - 幼稚園 180,432円 / 人
 - 専修学校
 - 大学入学資格付与校 35,900円 / 人
 - 専門課程等 27,100円 / 人

- (3) スポーツの振興
 - ⑧ いしかわ総合スポーツセンターの開館記念イベント等の実施 7,400 千円
H20年4月12日 バレーボール女子プレミアリーグ親善試合など
 - ⑧ トップアスリートに対する科学的トレーニングの推進 4,000 千円
いしかわ総合スポーツセンターを活用した効果的なトレーニングの実践
 - ⑧ アジアウエイトリフティング競技選手権大会の開催支援 20,000 千円
H20年4月24日～5月1日
 - ⑧ 全国中学校体育大会の開催支援 12,900 千円
H20年8月19日～24日

9 魅力ある産業としての農林水産業づくり

- (1) 次世代に向けた農業人材など担い手の育成・確保
 - ・ 新たな担い手の確保
 - 農林水産業への就業促進
 - ⑧ 企業の経営感覚を持った農業人材育成のための支援策の検討 1,500 千円
「自然の中で働こう」キャンペーンの実施 2,181 千円
ハローワーク等と連携した農林水産業への就業支援
 - 農林漁業への就業準備校の設置 8,387 千円
就業希望者のための各種研修(生産技術、⑧経営・販売能力)
 - 人材派遣会社のノウハウを活用した就農支援プログラムの展開 1,838 千円
都市部の就農希望者を対象とした農業法人での実践研修
 - 企業による農業参入の促進 6,187 千円
⑧県人会を活用した企業の意向調査、初期投資への支援など
 - ・ 企業の経営を目指す担い手の農地集積への支援
 - 担い手の効率的な農業経営のための農地集積の推進 128,100 千円
認定農業者等への連担した農地集積に対する助成など
 - 担い手の規模拡大等に伴う農業機械整備への助成 160,936 千円

- ・ 奥能登における多様な担い手の育成・確保
 - ⑧ 地域の実情に即した多様な担い手の育成 3,000 千円
集落診断カルテの作成、地域営農リーダーの育成など
 - ⑧ 能登の特色ある地域農産物を活かした特産品づくりの推進 3,000 千円
地域特産品の生産、加工、販路開拓への支援など
 - ⑧ ボランティア・企業による集落支援活動の推進 2,000 千円
社会貢献活動による農作業などの実施、受入希望集落とのマッチング

- (2) 消費者ニーズに応える戦略的な生産と流通の確立
 - 戦略作物を核とした産地づくりとブランド化の推進
 - ブランド確立に向けた販売戦略の展開 5,000 千円
ブランド食材プロデューサーの設置、効果的な情報発信など
 - ⑧ ぶどう「ルビーロマン」販売開始に向けた取り組みへの支援 2,000 千円
一元出荷・品質管理体制の整備、販売キャンペーンの展開など
 - 戦略作物の生産拡大に対する支援 11,816 千円
低コスト・高品質生産技術の研究開発、現地実証、産地に対する助成
 - 売れる米づくりの推進
 - 需要に対応した米づくりの推進 3,969 千円
うまい・きれいな石川米づくり運動の推進など
 - 多様なニーズに対応したこだわり米の生産拡大への支援 1,400 千円
 - 能登の気候風土を活かした農産物の振興 1,500 千円
「能登野菜」の供給体制づくり、販売促進への支援
 - 首都圏での新たな販路の開拓 12,000 千円
⑧首都圏での受注懇談会、実需者との交流会の実施など
 - 地産地消の推進
 - 飲食店、スーパーマーケット等での県産食材の利用・販売促進 4,768 千円
⑧地産地消推進協力店による消費拡大(県産食材コーナーの設置等)、
飲食店における「旬の地場もの」を活用した料理メニューの紹介など

- (3) 競争力のある林業・木材産業の育成
 - 間伐促進に対する支援 57,030 千円
作業効率化のための高性能林業機械の導入
 - 県産材使用住宅の取得に対する支援 6,000 千円
 - ⑧ 金融機関と連携した住宅への県産材利用の促進 1,000 千円
金融機関が創設する優遇ローン等の住宅メーカーへの普及

- (4) 水産資源の回復と流通の効率化による水産業の再生
 - ・ 水産資源の回復と維持
 - 資源管理による水産資源の保護と収益性の向上 13,748 千円
漁網の網目拡大、鮮度保持・活魚出荷技術の実証など
 - 適正な管理による水産資源の維持・増大の推進 3,506 千円
 - ・ 安定的な漁業経営の確立
 - ⑧ 漁業者と首都圏のスーパーマーケット等との連携による販路の拡大 2,500 千円
県産水産物を使用した商品づくりに対する支援
 - ⑧ 協業化等による経営改革の推進 2,200 千円
作業の共同化による省エネ型漁業の取り組みに対する支援
 - 大型クラゲ対策の推進 6,400 千円
洋上駆除活動への支援、来遊予測の研究

- (5) 農林水産業・農山漁村の多面的な機能の保全・発揮
- 地域ぐるみで行う農地・水・環境保全向上活動への支援 111,072 千円
農地・農業用水等の良好な保全活動、環境負荷軽減活動など
 - 中山間地域等直接支払制度による農地の保全 421,000 千円
 - いしかわ森林環境税による森づくりの推進
水源地域等の手入れ不足林に対する強度間伐の実施(再掲) 611,420 千円
森づくりに対する理解の増進(再掲) 16,700 千円
県民参加の森づくりの推進(再掲) 18,300 千円
 - 森林整備地域活動支援交付金による森林の適切な整備促進 101,000 千円
 - 離島漁業再生支援交付金による漁場環境の保全 6,656 千円

10 地方分権時代における自立かつ持続可能な行財政基盤の確立

- (1) 厳しい財政状況の下での財政健全性の維持
- ・ 歳入確保に向けた取り組み
 - 税収の確保
税源移譲を踏まえた個人住民税徴収対策の強化
専任職員による市町での徴収指導
税負担の公平を図る滞納整理の促進
タイヤロックによる自動車の差押え、インターネット公売の実施など
 - 広告収入の確保
広告代理店の活用など
 - 遊休財産の整理・処分
 - ・ 職員費の削減
 - 定員適正化計画の推進
知事部局の職員数を5年間(H19～23)で250人程度削減
 - 給料・諸手当の見直し
常勤特別職の給与減額・期末手当10%減額の延長
管理職手当の10%減額の延長など
特殊勤務手当の見直し(特殊現場作業手当(月額分)の廃止など)
 - ・ 一般行政経費の縮減
 - 管理的経費の抑制
本庁における給与・旅費事務等の更なる集約
⑧総務事務管理室の設置
⑧ 公用車運行管理業務の集約
農林水産部、土木部等の運行管理業務を総務部に一元化
 - 各種補助金の見直し
多子世帯子育て支援制度の見直し
対象を低所得者に限定
学会開催補助制度の見直し
冬季コンベンション誘致制度の創設など
青果物価格安定対策補助制度の見直し
基金造成等のルール見直し
猫の不妊・去勢手術への助成の廃止
住宅用太陽光発電システム設置への助成の廃止
ゆったりマイホーム建設費補助制度の廃止
 - ・ 投資的経費の抑制
 - ローカルルールによる効率的・効果的な社会資本の整備
1.5車線の道路・農道整備(一部再掲) 740,000 千円

- | | |
|--|--------------|
| 現道活用型道路整備(一部再掲) | 686,200 千円 |
| 地域特性に応じた歩道整備 | 748,500 千円 |
| 車・歩行者の通行実態に即した幅員の確保 | |
| ⑧ 河川の石積護岸再生 | 42,000 千円 |
| 既設石積護岸の目地詰め等による機能再生 | |
| 河川のピンポイント改良 | 80,000 千円 |
| 河川の中・上流部における局所的な狭窄部の拡幅整備など | |
| 既存ストックを有効活用した効率的な整備 | 1,735,760 千円 |
| 既存道路敷を活用した右折レーンの設置、河川内堆積土砂を活用した堤防の強化、既設護岸を活用した農業用水路の改修など | |
| 事業効果の早期発現を目的とした段階的施工(一部再掲) | 809,200 千円 |
| 街路の片側先行整備、河川拡幅の先行整備 | |
- ・ 公債費の抑制
 - 高利県債の繰上償還(公的資金)
 - H19～21年度で16,628百万円(一般会計、流域下水道特別会計、中央病院事業会計、高松病院事業会計、水道用水供給事業会計)
- (2) 時代の変化や市町・民間との役割分担を踏まえた県行政の守備範囲の見直し
- ・ 事務事業の見直し、市町・民間への業務移管
 - 名古屋事務所の廃止
 - 新たに「名古屋観光物産案内所」(観光連盟)を設置(H20年4月)
 - 県立美術館喫茶室の民営化
 - 県立美術館のリニューアルオープンに併せ実施(H20年9月)
 - 市町の生涯学習・社会教育への支援・助言業務の見直し
 - 市町への派遣社会教育主事の引き揚げ、教育事務所社会教育課の廃止
 - 県体育館の廃止
 - ・ 特別会計・事業会計事業の見直し
 - 金沢競馬の経営の健全化
 - 人件費の削減、場間場外発売・在宅投票の拡充、広報活動の強化など
 - 電気事業の民間への譲渡に向けた取り組み
 - 譲渡候補者の公募など
 - ・ 公社外郭団体の見直し
 - (財)いしかわまちづくりセンターと(社)石川県建設技術センターの統合
 - H20年4月、(財)いしかわまちづくり技術センター(仮称)
 - 住宅供給公社の分譲宅地の早期売却と廃止に向けた準備
 - (財)いしかわ女性基金に対する支援方法の見直し
- (3) 事務処理の工夫による業務の効率化
- ・ 民間ノウハウの活用
 - ⑧ 指定管理者制度導入施設の拡大
 - 青年の家、少年自然の家、自然史資料館、いしかわ総合スポーツセンター、武道館、卯辰山相撲場
 - ⑧ 外部委託の拡大
 - 本庁舎電話交換業務、県立美術館受付・看視業務、子どもの健全育成等支援業務(いしかわ子ども交流センター)、金沢城公園菱櫓等の料金徴収・案内業務、調理業務(警察学校)など
 - ・ ITの活用による業務の効率化
 - ⑧ 住民基本台帳ネットワークの利用拡大(本人確認情報利用事務)